

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線42354
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成30年11月 1日

リコール届出番号	4358	リコール開始日	平成30年11月 2日
届出者の氏名又は名称	スズキ株式会社 代表取締役社長 鈴木 俊宏 問い合わせ先：お客様相談室 TEL 0120-402-253		
不具合の部位（部品名）	①変速装置（クラッチレリーズベアリング） ②、③、④ともに変速装置（AGSアクチュエータ） ⑤電気装置（ワイヤハーネス） ⑥動力伝達装置（セレクトアッシ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>①機械式自動変速機（AGS）のトランスミッションフロントケース（以下、フロントケース）の形状が不適切であり及びクラッチレリーズベアリングの被水条件下での耐久性が不足しているものがある。そのため、フロントケース内に水が浸入すると、当該ベアリング内部のグリスが被水して潤滑性が低下し、クラッチ操作が繰り返し行われると、最悪の場合、当該ベアリングが破損してクラッチ操作が不能となり、変速不能及び走行不能となるおそれがある。</p> <p>②機械式自動変速機（AGS）のギヤ位置を検知するための部品（アンチローテーションピン）の材質が不適切なため、アンチローテーションピンの耐久性が不足しているものがある。そのため、変速が繰り返し行われると、アンチローテーションピンが破損して、警告灯が点灯するとともに、変速不能及び走行不能となるおそれがある。</p> <p>③機械式自動変速機（AGS）の変速を行なうための部品（セレクトピストン）の構造が不適切なため、セレクトピストンの耐久性が不足しているものがある。そのため、変速が繰り返し行われると、セレクトピストンが破損して、警告灯が点灯するとともに、変速不能及び走行不能となるおそれがある。</p> <p>④機械式自動変速機（AGS）のクラッチケーブルアンカの組付指示が不適切なため、当該アンカとレリーズフォークのスリットが一致し、クラッチケーブルのクランプ部に応力が集中するものがある。そのため、変速が繰り返し行われると、クラッチケーブルが破断して、警告灯が点灯するとともに、変速不能及び走行不能となるおそれがある。</p> <p>⑤四輪駆動仕様車の機械式自動変速機（AGS）を制御するコントローラに接続するワイヤハーネスの配索設計が不適切なため、ワイヤハーネスがトランスファケースのリブと接触するものがある。そのため、走行振動等により、ワイヤハーネスが損傷し、最悪の場合、変速不能及び走行不能となり、またはエンジンの始動ができなくなるおそれがある。</p> <p>⑥機械式自動変速機（AGS）のセレクトアッシのコネクタの配置が不適切なため、結露した水滴が当該コネクタに滴下し、端子間が短絡することがある。そのため、警告灯が点灯するとともに、変速不能及び走行不能となるおそれがある。</p>		

改善措置の内容	<p>①全車両、以下の改善を行う。</p> <p>(1) ①クラッチリリースベアリング、クラッチリリースフォーク、クラッチリリースベアリングクリップを対策品に交換する。 ②クラッチカバー、クラッチディスクを新品に交換する。</p> <p>(2) 機械式自動変速機（AGS）を点検し、フロントケース上部に防水カバーが取り付けられていない場合は、防水カバーを取り付ける。</p> <p>(3) (1) 及び (2) の対策によりクラッチリリースベアリングの耐久性が向上することから、クラッチカバーがリリースベアリングより早期に交換時期に達することとなるため、トランスミッション制御コントローラを対策プログラムに書換え、または、AGSアクチュエータを対策品に交換し、クラッチカバーの交換時期を知らせる警告機能を追加する。</p> <p>②全車両、AGSアクチュエータを対策品に交換する。</p> <p>③全車両、セレクトピストンを対策品に交換する。</p> <p>④全車両、クラッチケーブルアンカを点検し、</p> <p>(1) クラッチケーブルアンカとリリースフォークのスリット方向が一致している場合は、AGSアクチュエータを新品に交換、クラッチケーブルアンカを対策品に交換する。</p> <p>(2) 一致していない場合は、クラッチケーブルアンカを対策品に交換する。</p> <p>⑤全車両、ワイヤハーネスの損傷状況を点検し、損傷が認められない場合は、ワイヤハーネスにプロテクタを追加して正しく配索する。損傷が認められた場合は、ワイヤハーネスを対策品に交換する。</p> <p>⑥全車両、セクタアッシのコネクタを点検し、</p> <p>(1) ①被水痕が認められる場合は、セクタアッシとインパネハーネスを対策品に交換する。 ②被水痕が認められない場合は、セクタアッシのコネクタに防水カバーを追加し、インパネハーネスに防水対策を実施する。</p> <p>(2) メインハーネスのコネクタに、防水カバーが装着されていない場合は、メインハーネスのコネクタに防水カバーを追加する。</p>		
不具合件数	<p>① 584件 ② 117件 ③ 434件 ④ 163件 ⑤ 5件 ⑥ 78件</p>	事故の有無	①、②、③、④、⑤、⑥ともに無
発見の動機	<p>①、③、④、⑤、⑥ともに市場からの情報による。 ②取引先からの情報による。</p>		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールまたは電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.4358のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スズキ	EBD-DA16T	「キャリイ」	DA16T-168641 ～ DA16T-229862 平成26年8月18日 ～ 平成27年8月3日	3,017	① 3,017 ② 3,017 ③ 3,017 ④ 3,017
			DA16T-240002 ～ DA16T-372907 平成27年8月3日 ～ 平成29年10月31日	6,447	① 6,447 ② 349 ③ 6,447 ④ 6,447
			DA16T-380003 ～ DA16T-425454 平成29年11月1日 ～ 平成30年7月28日	2,843	① 2,843 ③ 587 ④ 956
	HBD-DA17V	「エブライ」	DA17V-100088 ～ DA17V-244615 平成27年2月3日 ～ 平成29年5月8日	111,300	①111,300 ② 31,052 ③111,300 ④111,300 ⑤ 33,454 ⑥ 37,676
			DA17V-250004 ～ DA17V-338316 平成29年5月8日 ～ 平成30年8月3日	32,561	① 32,561 ③ 20,849 ④ 22,840
ニッサン	HBD-DR17V	「NV100 クリッパー」	DR17V-100004 ～ DR17V-153673 平成27年2月14日 ～ 平成29年4月28日	46,855	① 46,855 ② 11,222 ③ 46,855 ④ 46,855 ⑤ 10,249 ⑥ 13,394
			DR17V-250001 ～ DR17V-289397 平成29年5月8日 ～ 平成30年8月2日	31,466	① 31,466 ③ 16,529 ④ 19,031
マツダ	HBD-DG17V	「スクラム」	DG17V-100004 ～ DG17V-115001 平成27年2月14日～平成29年4月28日	11,182	① 11,182 ② 3,188 ③ 11,182 ④ 11,182 ⑤ 2,391 ⑥ 3,677
			DG17V-250002 ～ DG17V-258630 平成29年5月8日 ～ 平成30年8月2日	5,364	① 5,364 ③ 2,962 ④ 3,298

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	HBD-DS17V	「ミニキャブ」	DS17V-100002 ～ DS17V-114424 平成27年3月2日 ～ 平成29年4月28日	11,383	① 11,383 ② 2,844 ③ 11,383 ④ 11,383 ⑤ 3,356 ⑥ 3,473
			DS17V-250001 ～ DS17V-257828 平成29年5月8日 ～ 平成30年8月2日	3,061	① 3,061 ③ 1,656 ④ 1,848
	(計5型式)	(計5車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年8月18日～平成30年8月3日	(計265,479台)	①265,479 ② 51,672 ③232,767 ④238,157 ⑤ 49,450 ⑥ 58,220

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。